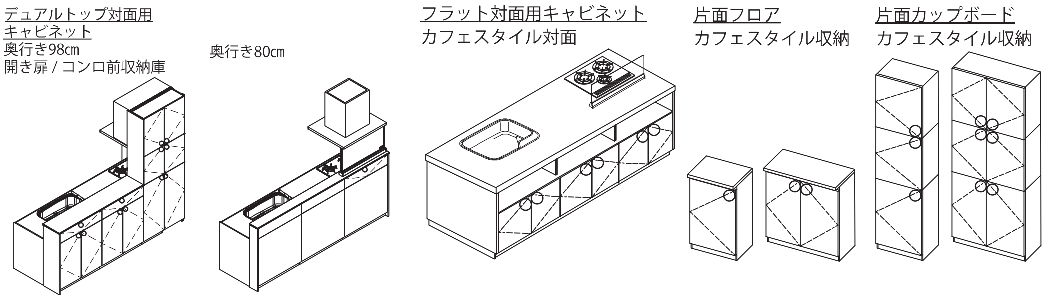
9.1. プッシュラッチ・扉開放防止部品・コーナーアングル

プッシュラッチ

下図の○付近を押すと、扉が開きます。



※耐力壁対応プラン、カウンター対面プランはイラストと異なります。
※上図のレイアウトは代表例です。開き扉はすべてプッシュオープンになります。

MEMO 押す場所やプッシュラッチの出代によっては、開閉しにくい場合があります。○付近を押しても開閉しにくい場合は、P.55「プッシュラッチの調節のしかた」を参照し、プッシュラッチの出代を調節してください。

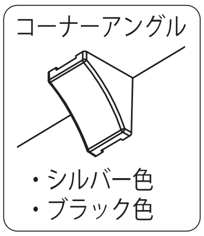
扉開放防止部品付キャビネットの使い方

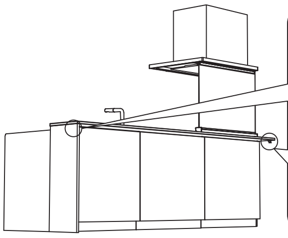
- 扉開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象になりません。
- 地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。
- 扉を開ける際は収納物が出てくることもありますので、ご注意ください。

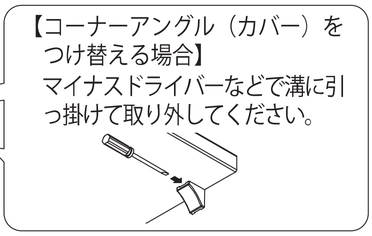
コーナーアングル

デュアルトップ対面 / ロータイプのオープンタイプ・セミ収納タイプの場合にコーナーアングルがついています。

壁やサイド化粧板と合わせてシルバー色またはブラック色を予めつけていますが色を替えたい場合は、お手元にあるシルバー色またはブラック色のカバーを付け替えてください。

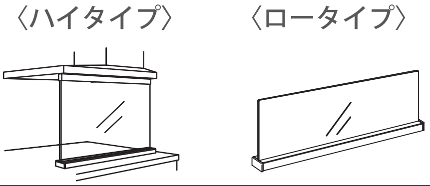






9.2. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。



使用上の注意

禁止

金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。

お手入れのしかた

- 汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
- フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。キッチン側のガラス面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気を付けてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。